

2025年度

AO 入試小論文 経済経営学部経済学科試験問題

※注意事項※

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの誤り、あるいは解答用紙の汚れなどに気付いた場合は、手をあげて監督者に知らせなさい。
3. 解答用紙は1枚です。試験終了後に解答用紙を回収します。
4. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に受験番号、氏名を記入しなさい。
5. 解答時間は80分間です。
6. 問題冊子の余白などは自由に使ってもかまいません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

問題

次の課題文を読んで、以下の問いに答えなさい。

生活者の足である路線バスが危機にひんしている。累積赤字や運転手不足で減便や廃止が各地で相次いでいるのだ。補助金に頼るだけでは先は危うい。IT の活用や人材の多様化、運行形態の見直しなど、経営を工夫しバス事業の進化に取り組みたい。

路線バスは地域交通の最後のとりでとされる。しかし以前から赤字体質が続き、高速バスや不動産事業の黒字で補填してきたのが実情だ。新型コロナで運賃収入が激減したのも痛手になった。

今年 4 月からは運転手の残業規制強化、通称「2024 年問題」で人員不足が加速した。現在の路線維持には約 12 万人の運転手が必要だが、30 年に約 9 万人まで減るとの予測もある。過疎地だけでなく都内を含む都市部や郊外でも減便や廃止が広がりつつある。

高齢者の免許返納、鉄道の廃止で路線バスの重要性は高まっている。大阪では万博会場への足も要る。観光や災害時の避難など貸し切り需要も含め、人員確保と経営基盤の安定は必須の課題だ。

一部の会社では取り組みが本格化している。女性の採用増加。シフトの工夫による週休 3 日制。自動運転の公道実験。大型免許不要な車両への切り替え。貨物との混載。複数企業が競合する路線の整理統合、などだ。

みちのりホールディングスは路線バスの一部を予約制とし、希望場所まで迎えに行く仕組みで利用者を増やした。最適なルートは人工知能（AI）が指示する。

バス業界には現金による運賃支払いの廃止を望む声がある。運転手や営業所の負担は減り、運賃箱も不要になる。当面は IC カードを車内販売すれば乗客も納得できるのではないか。

新システムの導入には体力が要る。路線バスは各地の地元企業が運営する場合が多い。生活基盤の「突然死」を迎える前に、合従連衡による経営規模の拡大を真剣に検討すべきだ。地域の利用者也バス存続のための工夫や変化を理解し、受け入れる姿勢を持ちたい。

[出典：日本経済新聞（社説）路線バス再生は知恵と技術で 2024.05.26 朝刊 2 頁]

（注）物流・運送業界の「2024 年問題」とは、時間外労働を巡る上限規制の厳格化によって、労働時間が短くなることで輸送能力が不足し、物流・輸送の遅延や運賃の上昇など、経済全体への影響が懸念されている問題のこと。

問 1 課題文において、路線バスの重要性が高まっているのにもかかわらず、減便や廃止により路線バスが危機にひんしていることが記載されている。そこで、路線バスの重要性が高まっている背景と、路線バスの減便や廃止に至っている原因を 300 字以内でまとめなさい。

問 2 課題文では、路線バスが危機にひんしている現状や、路線バスの存続と進化のための、様々な会社での取組み事例などが記載されている。これらに対して、あなたの意見や感想を 400 字以内で述べなさい。